

圏央道の神崎―大栄昨年開通

茨城、外国人宿泊が倍増

国土交通省と東日本高速道路会社は、建設中の（ＩＣ、神崎町）―大栄首都圏中央連絡自動車道（圏央道）で千葉県北部（成田市）間の整備効果をまとめた。隣接する茨城

国交省などによると、成田空港から水戸市までは茨城県道50号などを経由する既存のルートだと106分かかる。これが神崎―大栄間を含む圏央道を利用すると20分短縮する。

茨城県北部の名所、袋



は成田空港が時間的に近くなったことで輸送効率が高まっているという。

圏央道を使う車が増えた結果、一般道の安全性も高まった。千葉県成田市の成田警察署管内の交通事故は、15年に468件と14年より4%減った。国道の交差点での調査では急ブレーキの発生回数も減っている。